

2009年度 成果ハイライト

一般事業と4基金が各分野にアプローチ

個々の問題領域からアプローチする一般事業と、地域中心のアプローチを行う特定基金を通じて、さまざまな分野で戦略的に事業を展開しています。

一般事業

● 新型インフルエンザ対策

北米で新型インフルエンザA(H1N1)が発生し、世界的大流行(パンデミック)となる中、アジア諸国間で経験と課題を共有する機会を提供。(▶P10参照)

● 人口変動の新潮流への対処

人口構成の変化と労働市場、高齢化と移住労働政策、社会統合政策の分野で調査研究を実施。(▶P11参照)

● 日米オピニオンリーダー交流

日米間での知的交流の基盤を強化するために、両国のオピニオンリーダー間で重層的な交流を実施。(▶P14参照)



● 笹川太平洋島嶼国基金



● ミクロネシア海上保安機能向上

世界3番目の排他的経済水域(EEZ)を持つミクロネシア海域の海上保安機能向上に向け、関係国と官民協力を推進。(▶P20参照)

● 笹川日中友好基金

● 現代日本紹介図書翻訳

中国で日本理解を向上するために、日中の専門家によって厳選された現代日本を紹介する図書を中国語に翻訳・出版。(▶P28参照)

● 情報発信基盤強化

基金設立20周年にあわせて、中国で最も影響力のあるウェブサイト「人民網」内に、基金を紹介する中国語のウェブサイトを開発。(▶P31参照)



● 笹川汎アジア基金

● アジアの国会議員との交流

インド、モンゴル、カンボジアから国会議員を招き、政・財界の有識者らとの交流を通して2国間関係の強化と日本理解を推進。(▶P34,35参照)



● 笹川中東イスラム基金 2009年基金設立

● 日本と中東の相互理解推進

日本と中東の相互理解を推進するために、アラビア語で日本情報を発信するサイトを開設。(▶P41参照)

